

令和 4 年 1 月 21 日

協議会委員各位

琉球大学病院がんセンター
増田 昌人

第 3 次沖縄県がん対策推進計画の評価のための医療者調査の実施について（提案）

第 3 次沖縄県がん対策推進計画の評価のために、新たに「医療者調査」を行いたい。

患者体験調査は、これまでに、①2014 年厚労省、②2015 年沖縄県、③2018 年厚労省で行われ、それぞれ第 2 期および第 3 期がん対策推進基本計画と第 2 次沖縄県がん対策推進計画の中間評価に活用されている。

医療者調査は、沖縄県では 2015 年に患者体験調査と同時期に行われ、第 2 次沖縄県がん対策推進計画の中間評価に活用された。がん医療の実態を検証、特に地域連携ができてい
るかどうか、患者とのコミュニケーションができていかなどは、やはり医療者からの情報
が不可欠である。

そのため、今年 7 年ぶりに医療者調査を行うように、沖縄県に提案したい。

調査時期：令和 4 年度上半期

対 象：がん診療連携拠点病院等 6 施設と「がん診療を行う医療施設」17 施設を合わせた 23 施設に勤務する医師と看護師（場合によっては、薬剤師、MSW 等）

調査人数：各施設 医師 1～100 名（勤務する医師数に応じて決定）

看護師 2～200 名（勤務する看護師数に応じて決定）

質問項目：資料 10-2 の前回の沖縄県の調査項目を基本として、昨年度施行された資料 10-3 の秋田県の調査項目を参考に選定する。おおよそ 30 項目。

主 体：沖縄県（委託先として、琉球大学または本協議会）